



2021年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年4月28日

上場会社名 マブチモーター株式会社

上場取引所 東

コード番号 6592 URL <https://www.mabuchi-motor.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 大越 博雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理・財務担当 (氏名) 富田 たくみ

TEL 047-710-1127

四半期報告書提出予定日 2021年5月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	35,446	22.3	5,242	70.3	7,317	462.9	5,763	525.9
2020年12月期第1四半期	28,981	12.2	3,078	30.8	1,300	72.9	920	74.3

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 15,590百万円 (%) 2020年12月期第1四半期 5,910百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	87.44	87.41
2020年12月期第1四半期	13.87	13.86

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	272,362	249,217	91.5
2020年12月期	262,559	239,103	91.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 249,125百万円 2020年12月期 239,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期		67.00		68.00	135.00
2021年12月期					
2021年12月期(予想)		53.00		54.00	107.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳

2020年12月期特別配当 第2四半期末52円00銭 期末53円00銭

2021年12月期(予想)特別配当 第2四半期末38円00銭 期末39円00銭

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	64,500	32.1	7,400	110.8	7,800	160.5	4,900	469.2	74.29
通期	128,000	9.9	14,700	14.0	15,400	21.5	10,600	17.9	160.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	68,562,462 株	2020年12月期	68,562,462 株
期末自己株式数	2021年12月期1Q	2,796,884 株	2020年12月期	2,603,384 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	65,915,206 株	2020年12月期1Q	66,395,987 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。
また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8
(重要な後発事象)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日～2021年3月31日）における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の停滞等の影響が懸念されたものの、各国におけるワクチン接種率の上昇を背景に景況感が改善し、堅調に推移しました。米国経済は、記録的な寒波と停電が経済活動に影響を与えたものの、個人消費の回復を背景として堅調に推移しました。欧州経済は、各国の都市封鎖等の影響により、マイナス成長となりました。我が国経済は、新型コロナウイルスの感染再拡大と緊急事態宣言の再発令に伴う経済活動の停滞等の影響により、厳しい状況が続きました。新興国経済は、先行して回復した中国が成長を維持し、全体として回復傾向が持続しました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、中国市場を中心に各地域市場が回復したことにより、全体として大幅に増加しました。民生・業務機器市場は、北米及び中国市場の回復を背景に全体として大幅に増加しました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量は前年同期比19.6%の増加、金額は前年同期比22.2%の増加となりました。また、期初における第1四半期計画に対しては、数量は13.1%の増加、金額は11.4%の増加となりました。これらの結果、当第1四半期売上高は354億4千6百万円（前年同期比22.3%増）となり、その大半を占めるモーター売上高は354億2千4百万円（前年同期比22.2%増）となっております。

営業利益につきましては、市況品の上昇といった減益要因はあったものの、販売数量の増加、売価・プロダクトミックスの改善、及びコストダウンといった増益要因により、52億4千2百万円（前年同期比70.3%増）となりました。経常利益は、営業利益の増加及び為替差損益の改善などにより73億1千7百万円（前年同期比462.9%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は72億6千9百万円（前年同期比240.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は57億6千3百万円（前年同期比525.9%増）となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は267億1千5百万円（前年同期比21.4%増）と増加しました。重点強化事業であるパワーウィンドウ、パワーシート及びパーキングブレーキ用等の中型電装、並びにドアロック、ミラー及びエアコンダンパー用等の小型電装につきましては、自動車の需要回復に伴い前年同期比で増加しました。

② 民生・業務機器市場

売上高は87億9百万円（前年同期比24.8%増）と増加しました。理美容関連機器用は一部用途における採算性重視の方針による受注絞り込みの影響で減少したものの、健康・医療、家電・工具・住設及び事務機器用は好調に推移し、前年同期比で増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して98億3百万円増加し、2,723億6千2百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、たな卸資産の増加38億9千8百万円、有形固定資産の増加30億5千6百万円、受取手形及び売掛金の増加11億9千1百万円、現金及び預金の増加8億5千3百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して3億1千万円減少し、231億4千5百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、その他の流動負債の減少6億6千8百万円、未払法人税等の減少6億4千6百万円、賞与引当金の増加4億4千4百万円、支払手形及び買掛金の増加4億1千7百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して101億1千4百万円増加し、2,492億1千7百万円となりました。為替換算調整勘定が93億円増加、利益剰余金が12億5千9百万円増加、純資産の部のマイナス項目である自己株式が9億7千2百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は各国の大規模な財政出動の効果により回復が見込まれますが、一部地域における新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の遅れ及び変異株の感染拡大等を背景に、依然として先行きに不透明感があります。米国経済は、感染状況の改善に伴う経済活動の活性化、及び大規模な経済対策等を背景に感染拡大前の水準まで回復すると予想されます。欧州経済は、各国の都市封鎖等の影響及びワクチン接種の遅れなどの影響により、回復ペースは緩やかなものにとどまる見通しです。我が国経済は、感染再拡大に伴う緊急事態宣言の再発令及びワクチン接種の遅れに伴う経済活動の停滞により、景気の本格的な回復には時間を要する見込みです。新興国経済は、中国が成長を維持する一方、感染再拡大等に伴う経済活動への影響が残る地域もあり、全体として景気回復のペースは緩慢なものとなる見通しです。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、半導体等の不足による生産調整の懸念はあるものの、世界の自動車生産台数の回復を背景に堅調に推移するものと見込まれます。民生・業務機器市場は、北米

及び中国市場において回復が見込まれ、減少が予想される地域もあるものの、全体としては緩やかに回復する見通しです。

このような状況から、連結業績予想ならびに配当予想につきましては、変更を行っておりません。今後、経営環境にきわめて重大な変化が生じた場合は、業績予想、配当予想ならびに自己株取得などの株主還元を適宜見直し、速やかに開示いたします。

なお、業績予想における為替レートは1米ドル105円を前提としており、当初予想からの変更は行っておりません。

(注) 上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・為替相場の変動
- ・当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	110,018	110,872
受取手形及び売掛金	24,729	25,921
有価証券	1,500	1,500
商品及び製品	22,249	24,312
仕掛品	989	1,378
原材料及び貯蔵品	9,280	10,728
その他	4,789	4,651
貸倒引当金	△163	△182
流動資産合計	173,394	179,180
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	50,328	51,803
減価償却累計額	△29,467	△30,589
建物及び構築物 (純額)	20,860	21,214
機械装置及び運搬具	68,430	73,445
減価償却累計額	△36,914	△40,442
機械装置及び運搬具 (純額)	31,515	33,002
工具、器具及び備品	19,976	20,931
減価償却累計額	△15,944	△16,913
工具、器具及び備品 (純額)	4,031	4,018
土地	6,589	6,604
建設仮勘定	14,016	15,230
有形固定資産合計	77,014	80,071
無形固定資産	1,065	1,174
投資その他の資産		
投資有価証券	9,254	10,027
繰延税金資産	578	638
その他	1,658	1,684
貸倒引当金	△405	△414
投資その他の資産合計	11,085	11,936
固定資産合計	89,164	93,182
資産合計	262,559	272,362

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,486	6,904
未払法人税等	1,934	1,288
賞与引当金	233	677
役員賞与引当金	176	45
その他	9,361	8,693
流動負債合計	18,193	17,609
固定負債		
長期借入金	380	380
株式等給付引当金	241	243
退職給付に係る負債	2,051	2,113
資産除去債務	27	27
繰延税金負債	2,203	2,424
その他	357	346
固定負債合計	5,262	5,535
負債合計	23,456	23,145
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,419	20,419
利益剰余金	216,929	218,189
自己株式	△11,555	△12,527
株主資本合計	246,499	246,786
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,985	2,683
繰延ヘッジ損益	—	△201
為替換算調整勘定	△8,928	372
退職給付に係る調整累計額	△545	△514
その他の包括利益累計額合計	△7,487	2,339
新株予約権	91	91
純資産合計	239,103	249,217
負債純資産合計	262,559	272,362

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	28,981	35,446
売上原価	20,288	24,915
売上総利益	8,692	10,531
販売費及び一般管理費	5,614	5,288
営業利益	3,078	5,242
営業外収益		
受取利息	234	124
受取配当金	38	43
為替差益	—	1,624
スクラップ材料売却収入	231	433
その他	185	158
営業外収益合計	689	2,384
営業外費用		
株式関係費	9	13
為替差損	2,281	—
その他	176	295
営業外費用合計	2,468	309
経常利益	1,300	7,317
特別利益		
固定資産処分益	0	0
投資有価証券売却益	845	—
新株予約権戻入益	3	—
特別利益合計	849	0
特別損失		
固定資産処分損	8	47
臨時退職金	3	—
ゴルフ会員権売却損	—	1
特別損失合計	11	48
税金等調整前四半期純利益	2,138	7,269
法人税等	1,217	1,505
四半期純利益	920	5,763
親会社株主に帰属する四半期純利益	920	5,763

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四半期純利益	920	5,763
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,730	697
繰延ヘッジ損益	37	△201
為替換算調整勘定	△4,169	9,300
退職給付に係る調整額	30	30
その他の包括利益合計	△6,831	9,827
四半期包括利益	△5,910	15,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,910	15,590
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式199,200株(取得価額999百万円)を取得いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己株式は12,527百万円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した、新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループは各国の新型コロナウイルス感染症対策に伴う経済活動の停滞等により需要が縮小した影響を受けております。この状況により前連結会計年度中は一時的な需要低下があったものの、当期以降、各地域での感染拡大収束、経済活動再開に伴い需要は徐々にコロナ以前の水準に回復していくと仮定しており、当該仮定を会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性、固定資産減損の認識判定)に反映しております。

なお、新型コロナウイルスの収束時期や将来的な影響は依然として不透明であり、将来における実績値に基づく結果がこれらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,274	11,983	6,063	7,660	28,981	—	28,981
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,503	16,780	534	19	35,838	△35,838	—
計	21,778	28,764	6,597	7,679	64,820	△35,838	28,981
セグメント利益	942	1,326	206	205	2,680	397	3,078

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,406	17,371	6,402	8,266	35,446	—	35,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,930	19,319	788	20	42,059	△42,059	—
計	25,337	36,690	7,190	8,287	77,505	△42,059	35,446
セグメント利益	2,165	2,762	461	89	5,478	△235	5,242

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。